

一部車両において EB 装置のブザー鳴動開始までの時間が延びる事象について

京成電鉄（本社：千葉県市川市、社長：三枝 紀生）では、当社が保有する車両の一部において、特定の条件下で EB（Emergency Brake：エマージェンシー ブレーキ）装置のブザー鳴動開始時間が延びる事象が発生することが調査の結果、判明いたしました。

EB 装置とは、列車走行中に、運転士が力行操作、ブレーキ操作などの操作を一定時間扱わなかった場合にブザーが鳴動し、さらに 5 秒間、いずれの操作も行わなければ、運転士が疾病等により運転操作を継続できなくなったと判断し、自動的に非常ブレーキを動作させる装置のことです。

当社では、該当する車両のブザーが鳴動するまでの時間を 60 秒を基本としておりますが、今回の調査の結果では、特定の条件下では 60 秒以上となる事象が発生することが判明しました。

なお、この事象は保安装置である ATS（自動列車停止装置）に影響を与えるものではなく、ATS の機能により停止すべき状況下においては停止しますので、列車衝突等の危険はございません。

詳細につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 発生する事象

一部車両において、運転士が力行等の同じ操作を継続中に、ATS 等によるブレーキが動作した場合などに、EB 装置が運転士の操作によるブレーキと認識し、タイマーがリセットされ、EB 装置のブザーが鳴動するまでの時間が、その時点から 60 秒になる事象が発生します。

2. 対象車両数

38 両（いずれも運転台付き車両）

※運転台付き車両の総数は 182 両（平成 26 年 10 月 10 日現在）

3. 原因

保安装置である ATS 等により自動的にブレーキが動作した場合に、EB 装置の電気回路が運転士の操作によるものであると認識してしまう内容となっているため。

4. 対策

保安装置である ATS 等により自動的にブレーキが動作した場合でも、EB 装置のブザーが鳴動するまでの時間を 60 秒とするよう改修の準備を進めます。

以 上